



「きつと」

野外教室前日の夜は
昨年同様

台風が過ぎ去ったばかりの

雲一つない

栗名月とも

豆名月とも言われる

十三夜の月が十五夜に続き

夜空を昼間のように

明るく照らしていた

きつと思いで出になる

三日間になると思いながら

十三夜に輝いた臺たいを見ていた

雲ひとつない秋空

笑顔いっぱいみんな

バスの窓から

「行ってきます」と

笑顔いっぱい口が

そう動いていた

二日目の夜

中村先生からの説明を受け

夜空に繰り上げられる

天体ショーを見上げた

漆黒しつこくの闇に

赤く闇に解けていく月

欠けていく月と反して

笑顔あふれていくみんな

思い出あふれていくみんな

ここでの時間は

ここでの記憶は

みんなの心の中に

美しい思い出として残る

こんなに

寄り添えあえたのも

こんなに近づきあえたのも

きつとこの自然あふれる

野外教室の仕業

